



インターンシップ ～仕事現場ならではの学びを深める～

7月24日～31日にかけて、建築科2年生全員がインターンシップに参加しました。それぞれの事業所で各仕事について説明を受けたり、実際に現場に行って仕事を体験させて頂きました。短い日数ではありましたが、生徒達は仕事について知るきっかけとなりました。体験後、振り返りのまとめの中で、多くの生徒たちは初めて経験した作業がたくさんあり、「大変だったけど勉強になった」「建築や大工について知ることができた」等、充実感が得られる体験ができました。

今回、受け入れて頂いた各自事業所様本当にありがとうございました。

(株)高見組	(福知山市)	(株)ヨネダ	(福知山市)	(株)坂根工務店	(舞鶴市)
(株)井長組	(宮津市)	金下建設(株)	(宮津市)	宋徳建設(株)	(宮津市)
(株)入柿水道	(宮津市)	安田建設(株)	(与謝野町)	(株)山寅組	(京丹後市)
吉津こども園	(宮津市)	リハとも	(宮津市)	リハ・ヴィアなぎさ苑	(宮津市)
北部医療センター(与謝野町)					

※企業名等は敬称を省略してあります。



建築学生ワークショップ醍醐寺2024×地元高校生交流

9月11日(水)、建築科3年生が「建築学生ワークショップ醍醐寺2024×地元高校生交流会」に参加しました。この取組は文部科学省後援のもと、全国から選ばれた大学生が一堂に会し、テーマに合わせた創作作品を与えられた会場内のスペースに創り上げていくもので、開催場所を変えながら毎年行われています(昨年度は仁和寺)。今年度は京都市伏見区にある「醍醐寺」が会場ということで地元高校生代表として参加し、グループ単位で行われるプレゼンテーションの視聴や創作途中の現場に足を運び、直接大学生と言葉を交わし意見交流を行いました。同じ「ものづくり」に携わる学生として、創作活動に向き合う姿勢などを再確認できる貴重な経験を積むことができました。



道路クリーンキャンペーン

8月8日(木)宮津建設業協会主催の「道路クリーンキャンペーン」に建築科1年生と建築研究部が参加しました。8月10日の「道の日」にちなみ、全国で道路の清掃活動が行われ、宮津建設業協会でも宮津市の主要道路において実施されていましたが、安全面等を考慮して現在は天橋立の清掃活動となっています。

暑い中でしたが、地域の建設会社の方と一緒に松の生育に影響を与える松葉や松ぼっくり、枯れ枝等を熱心に拾い集めました。高校生にとって清掃活動を通して、地域の方と一緒に地域貢献ができ、良い経験となりました。



木工教室

～高校生が製作サポート～

7月27日(土)、宮津・与謝管内の小学生を対象に木工教室を行いました。5・6年生は「木製いす」の製作、1～4年生は「コリントゲーム」を製作しました。

高校生は小学生が安全に作業ができるように小学生のサポート役として、完成まで丁寧に教えていました。高校生にとっても小学生にとっても有意義な時間となりました。

この木工教室は、人に喜ばれる嬉しさをとても感じられる取組みの1つです。中学3年生のみなさんも来年はぜひ、建築科の一員として、高校生の先輩と一緒に小学生に教えてみませんか？



木工教室

体験セミナー

～高校への進路選択の第1歩～

8月1日(木)の体験セミナーの建築科体験に、15の中学校から48名の参加があり、模型製作、CAD実習、材料実験を体験しました。

模型製作ではスチレンボートを使って鉛

筆立ての製作、CAD実習ではCAD装置を用いて東屋の設計、材料実験では専用試験機を用いたコンクリートと鉄筋の強度試験を行いました。

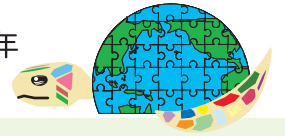
参加した中学生は、「教えてくれた先輩がとても優しくかった。」「建築にとても興味を持ちました。」などと感想を述べていました。



体験セミナー

学校祭（文化祭）

学校祭特集として、建築科の各学年の取組を紹介します。



【3年生】校門アーチ「Colorful ～多様性の海～」



3年4組は今年度の校門アーチのテーマを「多様性」に決定し、様々な人・生物たちが共生していく世界を「虹」「海」のふたつのモチーフで表そうと考えました。

企画の段階から抽象的なテーマをどのように形作るのか、クラスの実行委員の中で度重なる話し合いや試作の作成が行われ全体のイメージを固めていきました。メインモチーフには世界中で海の守り神を表す生き物のウミガメを選び、様々な生物の共生を表すために甲羅にパズルピースの地球を設置しました。この甲羅のドームの形はベニヤを細かくつなげ、しならせながら形を作りました。長く続く門には虹のペットボトルライトを設置し、グラデーションにこだわりながら水の色をひとつひとつ

つ合わせながら作っていきました。装飾にも力を入れ、実際に海に拾いに行った貝殻や流木で海を表現するとともに、泡を表す空き缶を使用した風車は300個をひとつひとつ手作業で切りながら作りました。装飾にたくさん使っていた海をイメージした青色の布も、白地のものを自分達で染め、ミシンで縫い合わせてひとつの大きな布にしました。

企画から制作、設置まで一筋縄ではいかないことばかりで、話し合いを重ねながら全員の力が合わさり制作できた校門アーチでした。長い歴史のあるこの展示に、3年4組らしい形を新しく作ることができ、全員にとって良いものになったと感じています。

展示「Fun!Run!Landへようこそ」【2年生】



クラス取組を昨年度に続いて展示をすることに決まり、今年度は「コーヒーカップ」の制作をしました。この案は昨年度もあったのですが、製作するための技術を考えると1年生では難しいという事で断念しましたが、2年生になり、技術も向上した今回であればできると思って挑戦しました。

全体の回る機構の部分と上に載せる箱の部分に分かれて作業を始めましたが、それぞれに苦労がありました。機構部分は、何度も試行錯誤を繰り返し、人を乗せても回ることが確認できました。しかし、当日部品が壊れるアクシデントがありましたが、その際にも生徒達が迅速に対応をしたおかげで無事に乗り切ることができました。

箱部分は、「普段体験できない空間」をテーマに一つ一つ違う形になるように作りました。自分たちが思う形にするためにはどうしたらよいかを考えながらの作業は苦労も多く、実際に完成して人が乗っている姿を見ると生徒達の顔には達成感が見られました。

当日は、本当に多くの来場者に楽しんでもらうことができました。この経験を来年の「校門アーチ」につなげていきたいと思っています。



今年度の1年生は夏祭りの出店をイメージした展示を行いました。

体験型の展示内容を模索した結果、夏祭りの催し物で来場者に体験してもらうことで意見がまとまりました。

準備期間は買い出しや製作、ゲームとしてのバランス調整等、班ごとに完成度の差はありながらも、それぞれが準備を進められたと思います。文化祭当日は、実際に多くの人に楽しんでもらうことができ、大盛況で2日間を終えることができました。

今年度の取組を終えて、来年は「もっと大きな製作物を作りたい」という意見や「劇をしてみたい」という意見など様々な意見が出ています。今年度の経験や反省点を生かして、来年は更に良い取組となることを期待しています。

【1年生】

展示「祭」

